

事業実績評価(平成 29 年度分)

＜掲載事業について＞

ページ	事業名	区分
1	災害に強い住環境の整備	総合計画 1-1-(5)
2	預かり施設の拡充、体制整備	総合計画 4-1-(1)
3	グローバル化対応教育の推進	総合計画 4-2-(4)
4	新たな賑わいの創出	総合計画 5-3-(1)
5	組織体制の強化と人材育成	総合計画 共-1-(3)
6	行政評価の充実と推進	総合計画 共-1-(2)
7	広域行政の推進	総合計画 共-1-(5)
8	計画的な財政運営	総合計画 共-2-(1)
9	新地方公会計制度の導入・推進	総合計画 共-2-(4)
10	行政サービスの情報化推進	総合計画 共-4-(1)
11	—圏域応援ステーション— 穂積駅圏域拠点化構想推進事業	総合戦略
12	公共交通広域化による穂積駅圏域拠点化構想推進事業	総合戦略

＜自己評価の選択肢について＞

高い	目標達成に非常に効果的であった
↑	目標達成に相当程度効果があった
中	目標達成に効果があった
↓	目標達成に効果がなかった
低い	目標指標無し
-	その他

基本目標1 安全で安心して暮らせるまち

①治水・防災

諮問事業(H29年度実施分)

(5) 災害に強い住環境の整備

所管 都市開発課

重点施策該当		○	まち・ひと・しごと創生総合戦略該当		-			
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・密集市街地の改善や住宅の耐震性向上のため、耐震診断や補強工事等の実施について支援します。 ・狭あい道路等に関する調査を実施します。 							
	●建築物等耐震化促進事業【重】							
年度別実施計画	29年度（実績）		30年度（計画）		31年度（計画）			
		事業費(千円)		事業費(千円)		事業費(千円)		
	●木造住宅耐震補強工事補助	2,861	●木造住宅耐震補強工事補助	4,044	●木造住宅耐震補強工事補助	4,044		
	●建築物耐震診断補助	753	●建築物耐震診断補助	1,000	●建築物耐震診断補助	1,000		
	●特定建築物耐震補強工事補助	23,630						
目標指標			単位	H27(基準)	H28(実績)	H29(実績)	H32(目標)	H37(目標)
住宅の耐震化率			%	80	80	80	95	97
自己評価	目標達成に効果があった	耐震化率95%（住宅約3.4百戸、特定建築物約16棟の耐震化）を目指しており、H29実績は住宅3戸、特定建築物1棟であった。 実績としては微数ではあるが、効果があったと評価できる。 耐震化が進まない要因として、一般住宅の所有者は高齢者が多く、耐震補強工事には多額の資金が必要となることから耐震化が進んでいない。 耐震化率の向上を目指し、さらなる普及啓発活動に取り組む必要がある。						
外部評価		-1ページ-						

基本目標4 夢あふれ希望に満ちたまち

①子育て支援

諮問事業(H29年度実施分)

(1) 預かり施設の拡充、体制整備

所管 幼児支援課・教育総務課

重点施策該当	○	まち・ひと・しごと創生総合戦略該当	基本目標1-(2).子育て支援の充実					
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所、幼稚園、放課後児童クラブにおける保育士、指導員等を確保し、受け入れ体制を整備します。 ・子どもが健全に養育される質の高い幼児教育・保育環境、保育サービスの提供等、子育てと仕事の調和のとれた環境づくりを促進します。 ・老朽化した保育施設の建替等を推進します。・既存保育施設の大規模改修による長寿命化を推進します。 ・保育所、幼稚園、放課後児童クラブにおける受け入れ体制を充実します。 							
主な事業	<ul style="list-style-type: none"> ●子ども預かり施設の拡充、体制整備事業【重】 ●潜在保育士就業促進事業【創】【重】 ●待機児童対策施設整備事業 ●保育施設大規模改修事業 							
年度別実施計画	29年度(実績)	事業費(千円)	30年度(計画)	事業費(千円)	31年度(計画)	事業費(千円)		
	●私立保育所補助等 ・私立保育所施設整備補助 ・小規模保育所施設設置事業補助	141,101	●私立保育所補助等 ・私立保育所施設整備補助	221,447	●私立保育所補助等 ・私立保育所施設整備補助	221,447		
	●保育士就職チャレンジ研修【創】	102	●保育士就業チャレンジ研修【創】	661	●保育士就業チャレンジ研修【創】	661		
	●新任保育所長・新任主任研修	0	●新任保育所長・新任主任研修	0	●新任保育所長・新任主任研修 ●西保育・教育センター大規模改修工事設計	0 6,416		
目標指標			単位	H27(基準)	H28(実績)	H29(実績)	H32(目標)	H37(目標)
子どもの預かり施設の拡充、体制整備事業			人	2,018	2,078	2,143		2,320
潜在保育士就業促進事業(年間2人以上：累計)			人	1	4	8		21
自己評価	目標達成に非常に効果的であった	<p>小規模保育所「ニチキッズ瑞穂」の施設改修工事に対する補助。 清流みずほ認定こども園の増築工事に対する補助。 市内の私立保育園と私立認定こども園、市外の私立保育園、認定こども園、小規模保育所における保育に要する費用を支弁した。 また、私立保育所の一時預かり保育事業費、延長保育対策費、地域子育て支援センター事業費、運営費に対し補助した。</p>						
外部評価	-2ページ-							

基本目標4 夢あふれ希望に満ちたまち

②学校教育

諮問事業(H29年度実施分)

(4) グローバル化対応教育の推進

所管 学校教育課・教育総務課

重点施策該当	○	まち・ひと・しごと創生総合戦略該当	基本目標1-(3)教育力の向上				
施策の内容	<p>・英語力やICT活用能力等、児童生徒がこれからのグローバル社会に対応し、たくましく生き抜く力を育む教育を一層充実します。</p>						
主な事業	<p>●英語教育推進事業【創】【重】 ●ICT教育推進事業【創】【重】</p>						
年度別実施計画	29年度(実績)	事業費(千円)	30年度(計画)	事業費(千円)	31年度(計画)	事業費(千円)	
	●ALT事業費	21,586	●ALT事業費	21,600	●ALT事業費	21,632	
	●小中学校ICT機器導入	71,991	●小学校ICT機器導入	66,960	●小学校ICT機器導入	150,575	
目標指標		単位	H27(基準)	H28(実績)	H29(実績)	H32(目標)	H37(目標)
学校教育における情報媒体機器の整備【創】タブレット端末(小中)		台	(中)各校7台 (小)0	(中)各校7台 (小)0台	(中)各校7台 (小)0台	各校40台	各校40台
学校教育における情報媒体機器の整備【創】タブレット端末(特支学級)		台	0	(中)19台 (小)13台	(中)19台 (小)13台	1人1台	1人1台
学校教育における情報媒体機器の整備【創】電子黒板(中)		台	各校1台	各校1台	(中)88台 (小)6台	各学級1台	各学級1台
学校教育における情報媒体機器の整備【創】電子黒板(小)		台	各校1台	各校1台	各校1台	各階1台	各学級1台
自己評価	目標達成に効果があった	<p>穂積中、穂北中、巣南中の全教室、牛牧小の6年生教室及び理科室に、電子黒板(大型提示装置)全94台を導入した。視覚的・聴覚的に理解しやすい提示、画像比較による考えの共有等に活用することで、児童・生徒の深い学びや学習意欲の喚起、教師の教材準備の効率化に繋がった。 6人のALTを配置し、小学校の外国語活動や中学校の英語の授業等において効果的に活用することにより、児童生徒の英語力や興味関心を高めることができた。 英語教育推進委員会、小学校英語指導力向上研修、英語教育研修により、参加教員の英語指導力を高めることができた。また、中学校1年生を対象に英検I・BAを行い、生徒自身が英語力の定着度を自覚できた。</p>					
外部評価		-3ページ-					

基本目標5 活気あふれる元気なまち

③観光・交流

諮問事業(H29年度実施分)

(1) 新たな賑わいの創出

所管 総合政策課

重点施策該当	○	まち・ひと・しごと創生総合戦略該当	基本目標4-(2)地域ブランドの創造・魅力向上					
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 既存民間施設(ボウリング場)を活用した地域活性化拠点を位置づけ、移住・定住に繋がる交流や賑わいの創出を図ります。 民間企業、大学、市民や団体等が連携した官民協働型の地域拠点運営を図ります。 							
主な事業	●民間施設(ボウリング場)を活用した地域活性化拠点創出事業【創】【重】							
年度別実施計画	29年度(実績)	事業費(千円)	30年度(計画)	事業費(千円)	31年度(計画)	事業費(千円)		
	●婚活イベントの開催	432	●婚活イベントの開催	450	●婚活イベントの開催	450		
	●多世代交流イベントの開催	繰越 (12,021)	●多世代交流イベントの開催(繰越)	12,040	●多世代交流イベントの開催	【調】		
	●穂積駅周辺でのほづみ夜市の開催	21,000 の一部	●穂積駅周辺でのほづみ夜市の開催	23,567 の一部	●穂積駅周辺でのほづみ夜市の開催	【調】		
	●市制15周年記念事業	繰越 (6,757)	●市制15周年記念事業(繰越)	6,850				
目標指標			単位	H27(基準)	H28(実績)	H29(実績)	H32(目標)	H37(目標)
交流人口(観光・交流入込客)(年当たり)【創】			人	40,000	38,000	40,315	55,000	60,000
自己評価	目標達成に効果があった	平成28年度に実施した「水と緑のマルシェ」に参加した事業者が、さい川さくら公園の魅力を感じ、市からの協力が得られれば、自主運営事業としてイベントを開催したいとの申し出があり、地域の「稼ぐ力」や「地域価値」の向上を図る地方創生の観点から、趣旨に賛同し支援する価値のある事業と考え、市が後援を行い事業を実施。3日間で交流人口4,600人を達成する。民間主催事業として定期開催を目指す。また、多世代交流イベントとしては、平成30年5月に繰越事業で、市制15t hスマイルウィークと題し「水と緑のマルシェ」を実施。目標の交流人口10,000人を達成出来なかったが、市内初のロックフェス等にチャレンジすることができた。ゴールデンウィーク中に実施する事や他の既存イベントに近い内容となった事など、良い点、悪い点を総括し、次年度に向けて進めたい。						
外部評価								

【共通目標】 持続可能な都市経営のまち

①行政運営

諮問事業(H29年度実施分)

(3) 組織体制の強化と人材育成

所管 総務課

重点施策該当		○ まち・ひと・しごと創生総合戦略該当		-				
施策の内容	<p>・多様化・高度化する行政需要に的確に対応できる柔軟で機動的な組織体制の再編を進めます。また、分野横断的な課題に対しては組織機構の枠を越えた総合的かつ戦略的な対応ができる組織体制の構築します。</p> <p>・職員資質を向上させるための研修を実施する等、職員の能力を最大限発揮できる環境を整備し、幅広い視野と企画創造力を持った人材を育成します。</p>							
	<p>●職員育成計画推進事業【重】</p>							
年度別実施計画	29年度(実績)	事業費(千円)	30年度(計画)	事業費(千円)	31年度(計画)	事業費(千円)		
	<ul style="list-style-type: none"> ●市町村研修センターへの受講促進 ●市町村アカデミー、国際文化アカデミーへの積極的参加 ●高度な専門知識習得のため自治大学校等への派遣 ●職場内研修の充実 	1,480	<ul style="list-style-type: none"> ●市町村研修センターへの受講促進 ●市町村アカデミー、国際文化アカデミーへの積極的参加 ●高度な専門知識習得のため自治大学校等への派遣 ●人材育成計画に基づいた研修の充実 	1,498	<ul style="list-style-type: none"> ●市町村研修センターへの受講促進 ●市町村アカデミー、国際文化アカデミーへの積極的参加 ●高度な専門知識習得のため自治大学校等への派遣 ●人材育成計画に基づいた研修の充実 	1,498		
目標指標			単位	H27(基準)	H28(実績)	H29(実績)	H32(目標)	H37(目標)
【参考指標】 職場外研修(特別研修)の参加人数			人	-	1,112	1,194	1,250	-
自己評価	目標指標無し	<p>組織体制の強化として、瑞穂市総合計画の重点施策を踏まえた組織改編を実施し、これにより平成30年4月1日より新たな組織体制をスタートした。</p> <p>研修参加人数は、前年度より増加しており、特に昨年度同様、職員自身の業務に関する高い専門的知識の習得のため、職場外研修への参加人数が増加している。新たに策定された「第2次瑞穂市人材育成計画」を踏まえ、今後も、できるだけ多くの職員が研修へ参加できる環境を整えていく。</p>						
外部評価	-5ページ-							